

2020年1月16日

輸送動向について（2019年12月分）

1. 輸送概況

コンテナは、関東地区発の建設発生土・焼却灰などのエコ関連物資が順調に推移したほか、大手自動車メーカーの九州地区での増産に伴って東海・九州地区間での自動車部品が好調な荷動きとなった。

一方、国内需要減少に伴って各社とも販売不振となっている紙・パルプが大幅な減送となった。また米中貿易摩擦の影響に伴って輸出用を中心に不振が続く化学工業品、化学薬品が前年を下回ったほか、生産拠点と消費地の近距離化が進む清涼飲料水、酎ハイなどに押され市場縮小が続くビールといった食料工業品の輸送が低調に推移した。全体的な景気の落ち込みの影響も受け、年末の最繁忙週の実績が2.2%減となるなど盛り上がりには欠けたことから、コンテナ全体では前年比94.8%となった。

車扱は、上旬の気温が低く推移したことおよび年末年始の長期連休に向けた送り込み需要が好調となったことから、石油が前年を上回った。車扱全体では前年比100.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比96.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,785	1,883	94.8%	15,655	14,897	105.1%
車 扱	944	945	100.0%	6,362	6,426	99.0%
合 計	2,729	2,827	96.5%	22,017	21,323	103.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	179	184	-5	97.3%
	化学工業品	148	161	-13	91.8%
	化学薬品	114	126	-12	90.0%
	食料工業品	309	333	-24	92.8%
	紙・パルプ	215	245	-30	88.1%
	他工業品	120	129	-9	93.3%
	積合せ貨物	259	259	0	99.9%
	自動車部品	72	68	4	104.6%
	家電・情報機器	32	36	-4	88.8%
	エコ関連物資	50	39	11	126.3%
	その他の他	287	301	-14	95.2%
	コンテナ計	1,785	1,883	-98	94.8%
車 扱	石油	692	686	6	100.8%
	セメント・石灰石	111	111	0	100.2%
	車 両	89	89	0	99.7%
	その他の他	52	58	-6	90.1%
	車 扱 計	944	945	-1	100.0%
合 計		2,729	2,827	-98	96.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)